

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 12月 17日		年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○こどもたちが自ら「行きたい」と思ってもらえていること。	・こどもたちが楽しみにしながら来所することは療育の質に繋がるため、本人を主体的に考えながらも活動に参加できるように支援内容を考えています。	・今後も、まずは本人が楽しみと思っただけのように関わり方を考えながら療育していきたいと考えています。

2	○それぞれの発達段階に合わせて個別の関わりと小集団での関わりに対応できること。	・こども一人一人に合わせて個別の必要性と小集団での必要性を考えながら可能であれば小集団での活動を通してコミュニケーションや社会性を育ていけるようにしています。	・個別のこどもたちにもイベント等を通して小集団での活動に参加してもらおうとともに、小集団と個別の様子をそれぞれ見られると良いと考えています。
3	○保護者様のニーズに合わせて支援内容を展開できるところ。	・保護者様に気になる点やご意向を伺いながらも、こどもたちが主体的に活動できるように考えながら接しています。	・こどもたちの成長を些細なことでも伝えることが出来るように向き合いながら、気付いた成長はその都度フィードバックさせていただきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○事業所スペースの使い方	・元々スペースに限りがありますが、その上に必要な備品を配置するため活動場所が少なくなっていると考えています。	・限られたスペースの中で可能な限り物を置かず、活動のスペースを設けていきます。また活動も一人一人が圧迫感を感じないようにスペースを確保し工夫していきます。
2	○保護者様同士や兄弟、他機関の児童との関わりが少ないこと。	・交流の機会がなく、日々の送迎時程度でしか顔を合わさない、もしくは個別療育のため来所時間がバラバラであり出会う機会がないことが考えられます。	・イベントを開催し小集団をしながら子どもたちの交流を深め、同時に保護者様の交流の機会も設けられたらいいと思います。

3			
---	--	--	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」新鈴鹿校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

25名

回収数

25名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	7	1		・体の大きい男子が屋内でドッチボールをしている。 ・ボール遊びの時はもう少しスペースがあってもいいかなと思います。	・限られたスペースを有効活用しながら活動できるように努めて参ります。 ボールを使う際は、危険がないよう周囲に配慮した上で行うようにします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1				・法令に則り配置しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24		1			・日々事業所内を全清掃し皆さまを迎えておりますので安心してご利用ください。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1		1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1			1	・それぞれの発達段階や課題を見極め、アセスメントをしたうえで計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1			1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1			1	・ただ遊んでいるだけで専門性が欠けている。 ・一見遊んでいるだけのようですが遊びの中に言葉の面や社会性の要素を多く含みます。今後も"専門的に遊ぶ"ことを心掛けて関わっていただけるよう努めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	4	1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	5	3	13		・地域のお子さまと接する機会は設けてはいませんが、イベントや戸外活動の際に出会った方々にはコミュニケーションを取らせていただいております。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24				1	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	5	1	10	・こちらからトレーニングをお願いしたいと遊ぶだけで終わる。	・子どもたちの成長の中で非常に重要なことは楽しみながら取り組めることです。そこを遊びと絡めて、楽しさの中でより成長できるように考えておりますのでご理解いただけますようお願いいたします。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3				・送迎の際にその様子と必要に応じてアドバイスやお悩みを聞かせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1				

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	5	9		・保護者様同士の交流の機会は設けていませんが、きらりデイというイベントを通じてご兄弟と関わる機会や、少しのお時間ですが保護者様同士が出会う機会にさせていただけたらと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		6		・SNSやブログにて活動やイベント内容、事業所の様子を発信しています。是非ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1		2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		3		・各種マニュアルを策定し、入口に掲示しております。また、ご契約の際に必要な事項を重点的に説明をさせていただいております。 ・災害時を想定した避難訓練を毎月実施し、非常時に備えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		3	・事故や怪我が発生したことがない	・安全面に配慮して療育を行っています。もし、怪我や事故があったとしても迅速に対応いたします。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				・毎週行くこと、先生に会えることを楽しみにしています。 ・放デイには元気にいきます。	・お子さまの「いきたい」という気持ちが私たちの原動力にもなります。 楽しく成長できる場所を提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2			・前日から行きたいとよく言います	・楽しみながら様々な活動を経験していただけるよう日々子どもたちのことを考えながら来所をお待ちしております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1			・発達支援や感情コントロールのグッズで遊ぶなどの企業努力が足りない。 ・いつも相談にのってくれてアドバイスもその都度いただいています	・コベルさんの療育グッズも使用させていただきながら遊びの中で成長できるよう支援しております。 ・引き続きお悩みの際にはいつでもご相談ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校			公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		受け入れる人数を工夫し、なるべくスペースが確保できるように努めています。	必要に応じて活動場所を区切る等、その時に合わせた対応も必要であると考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		事業所内は必要最低限の段差になっています。ドアの幅などは必要に応じて改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々清掃と感染症対策を欠かさずに行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンや周囲の音が気になる際は個別の部屋を使用し、そこで活動できるよう工夫をしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者様向けの評価表にてご意見をいただき、業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		隙間時間を利用し職員の意見を伺う機会やコミュニケーションを取る機会を設定しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていませんが、内部監査として弊社内で確認を行っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修が定期的に行われ、それ以外にも県や市が開催する研修に参加しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラムを作成し、期限内に掲示・HPにて公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		気になることがあればその都度共有し、計画に沿いながらもその時の状況に合わせて支援内容を修正しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		一人一人の発達段階を捉え、それに応じた支援を5領域に分け、そこに家族支援、移行支援、地域支援を加えた計画を策定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			支援内容は会議等でこどもの状況に合わせて調整しているが職員の休みの都合もあり全員が参加できていないのが現状です。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		休日、長期休暇は時期に合わせて活動内容を変えたり、イベントを開催しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		気になる点や、その日の様子など些細なこともその都度話すようにしています。 また朝礼にてその日の利用者さんについて必要連絡事項を共有するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録を残し、見直しや次につながる支援の参考にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長6ヶ月ごとに計画を見直し、保護者様へ見直しした内容を説明しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こどもたち主体で活動することによって、主体性や挑戦する気持ちを育めるよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		引継ぎ会議や支援会議、保護者様からのご要望により会議が行われる場合には参加し、情報を共有させていただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者の方のご意向を伺い、必要に応じて情報共有をし、支援を継続できるように努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			他機関との交流する機会はないが事業所間や地域のこどもたちは公園に出かけた際などに関わらせていただいています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングではないが、療育の様子をお伝えする際に、簡単にアドバイスや療育以外でできる遊びや支援方法をお伝えさせていただいています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約の際に詳しく説明をさせていただいております。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後、保護者様同士やきょうだい同士で関わる場所は必要と思うので、イベントの際等を利用し交流が出来るタイミングを作っていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きのロッカーに保管し、外部へ情報を出さないように努めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		イベントは誰でも参加できるように開催し、他店舗のご協力も得て買い物体験などをさせていただいています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートにて投薬の状況、アレルギー、てんかん等の情報を確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	/	/	食事の提供を行っていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画を策定し非常時にはマニュアルに沿って動けるように訓練をしております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		些細なことでもヒヤリハットを共有し、注意するとともに事故の際は再発防止に向けて努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待に関する社内研修が定期的に行われており各職員がその研修に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約書に記載し、それを詳しく説明をしたうえで契約書にサインをいただいています。		